

# ウクライナの子ども達の絵画展

～ウクライナの今、  
戦時下の子ども達からのメッセージ～



2024年 9 月 10 日 (火) ▶ 23 日 (月・祝)

名古屋・栄 Central Park 地下街「セントラルギャラリー」

(名古屋市中区錦 3-15-13 先)

- 地下鉄「久屋大通駅」南改札横または地下鉄「栄駅」北口近く
- 10:00～21:00 観覧自由/無料

【主催・問い合わせ先】

特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部

名古屋市中区千代田 5-11-33 ST・PLAZA・TSURUMAI 本館5B

TEL/FAX: 052-228-6813 (月水金 10時～15時) E-mail: chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

名古屋での開催  
第2弾です。  
初めての方も  
2度目の方も  
お見逃しなく。

## ～主催団体紹介と絵画展概要～

チェルノブイリ救援・中部は、1986年に起きたチェルノブイリ原発事故被災地支援の活動を行っています。1990年より現在まで、現地病院等への医療機器支援、事故処理作業員支援、放射能汚染されていない粉ミルクや離乳食を届けるミルクキャンペーン、手作りのクリスマスカードを集め心の交流を図るカードキャンペーン、2011年の福島原発事故後は、福島の実生活空間線量を測定して汚染マップを作る活動、南相馬市の子ども食堂支援等を行ってきました。

2022年2月24日以降、戦時下となってしまったウクライナ。皆様よりご支援いただいた「ウクライナ救援基金」を活用し、必要な支援物資を届けています。

昨年より、絵画展『ウクライナの子ども達の絵画展～ウクライナの今、戦時下の子ども達からのメッセージ～』を全国各地で開催しています。現地パートナー団体の「チェルノブイリ・ホステージ基金」と「ゼムリヤキ（市民団体「未来」）の協力により、各学校、絵画教室などに呼びかけ、子どもたちの素晴らしい絵画が100点以上届きました。ウクライナの子どもたち・人々の命の重さや心と体の痛みを、今一度思いを寄せるために、どうぞ会場にお運びくださるようお願いいたします。

## ～ウクライナ現地パートナー団体紹介～

慈善基金「チェルノブイリの人質たち」（理事：イエウヘーニヤ・ドンチェヴァさん：写真左端）



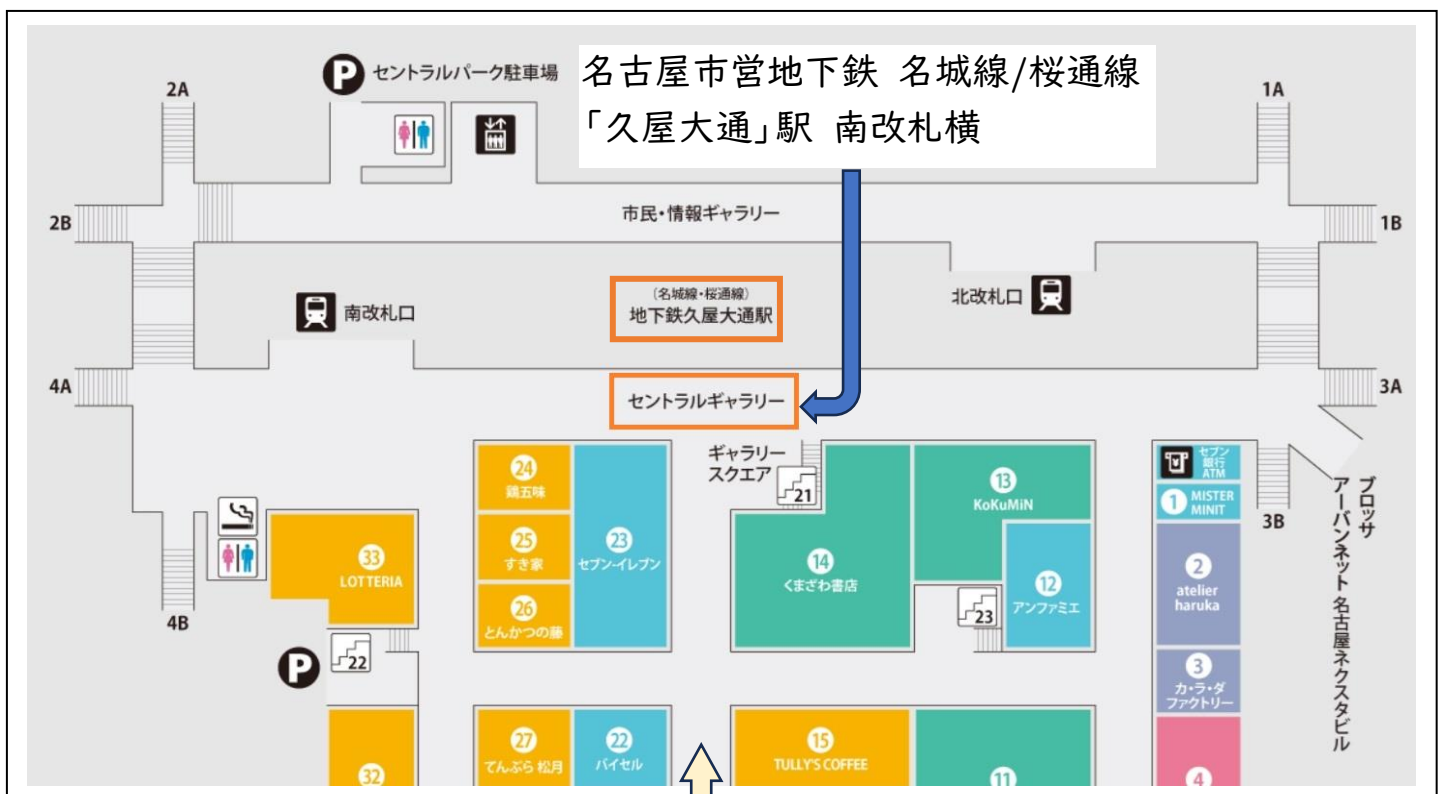
団体名はチェルノブイリの人質たちの意味。ウクライナの汚染地域の人々は原発事故で放射能汚染から逃れられない運命を背負ってしまったという思いから付けられた名前。ジトームィル州で、病院や事故処理作業員団体、児童施設など支援を必要とする様々な団体からのニーズの把握、連絡調整、物資の調達、配布等を行っている。ロシアによる爆撃の影響で事務所が半壊するも、ドンチェヴァさんの自宅やシェルターで活動を継続。

市民団体「未来」（代表：タマーラ・クラシツカさん：写真右から2番目）

37年前のチェルノブイリ原発事故でプリピャチ市から強制疎開となり、首都キーウで活動する被災者の互助団体。現在、団体のメンバーたちは、戦禍の厳しい状況下で団体会員や戦争で占領された村人たちに、物資を配り励ましています。



## ■会場アクセス：セントラルギャラリー



栄地下街からセントラルパークに入って北へ